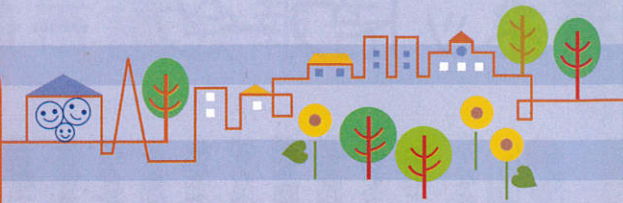




市議会議員
大塚恵美子



市議会議員
白石えつ子



2017年8月 vol.120

東村山・生活者ネットワークニュース

なんていいんだろう! 赤ちゃんふれあい授業

学校には可能性がある。6月に市内の東村山市立第四中学校、「いのちの学習・赤ちゃんふれあい授業」と題した総合学習の時間を参観させてもらった。

第四中学校では昨年につづき、総合学習の時間を使った「赤ちゃんふれあい授業」に取り組んできた。会場の体育館では、思春期・受験期まっただ中の中学3年生が学んでいた。



とつである「助産院BLBホーム」の助産師・川野元子先生が講師なのだが、「子育て総合支援センター・ころころの森」の利用者のママたち40組ちかくが赤ちゃんを抱っこして参加されていた。それだけで、もうすでに体育館は壮観である。

18歳で助産師になるうと志し、2000人の赤ちゃんをとりあげてきた川野先生の、「15歳の君たちに語りかける言葉がまっすぐに伝わってくる。」

よ」と。卵子と精子の奇跡のような出会いに始まり280日、お母さんのお腹で育てられて、この世の中に生まれてきたこと。それは、お母さんが産んだのではなくて、赤ちゃんが生まれてくる、ということ。でも、おっぱいをもらい可愛がられ15歳の君に育つたこと。赤ちゃんの持つチカラで生まれてきても、ひとりで大きくなつた訳ではないんだ。お話のあとは、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、あやしたり、お母さんに話を聞いたり。初めは、どうしよう…



つて戸惑っていた中学生が数分もしないうちに交代で赤ちゃんを胸に抱き、顔を眺める。「いのち」を抱っこして、笑顔がこぼれる。

かけがえのないいのちのために何ができるだろう

川野先生は、最後に大事なことを伝えたい、と「いのち」を抱っこした生徒たちに語りかけた。一人のお母さんとしての思いがそこに重なる。いじめのこと、みないふりは哀しいこと、自ら死んではいけないこと、障害の

ある人とのあたりまえのかかわり、身体も心もしあわせな状態で出産してほしいこと…
そんな真剣な大人からのメッセージが授業になるなんて。

一緒に学べてしあわせだった。川野元子先生、赤ちゃんと来てくれたママたちの勇氣、四中の先生たち、15歳の君たち、ありがとう。

これこそが指導要領で指導されなくともアクティブ・ラーニングというものだ。カナダから伝わってきたルーツ・オブ・エンパシーの具体化でもある。

これからも、東村山の学校での「赤ちゃんふれあい授業」をいっぱい、いっぱい拡げてほしい。すべての学校に。
そう、みーんな赤ちゃんだつたんだもの。

(大塚恵美子)

6月東村山市議会報告 生活者ネットワーク 一般質問より

障害のある人もない人も共に生きる

市議会議員

白石えつ子

詳細はこちら

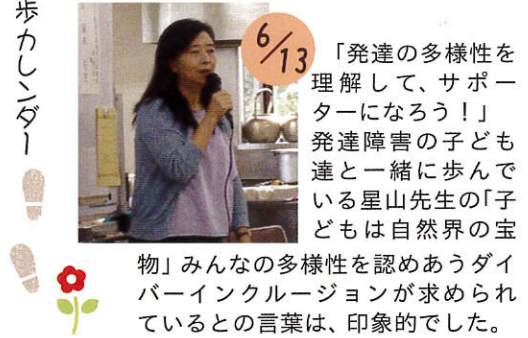
http://shiraishi.seikatsusha.me/
Facebook: 白石えつ子



デポーカフェスペースでの読み聞かせに参加。今回は、大人バージョン。「しろいうさぎとりんごの木」「憲法くん」など読み手の迫力に引き込まれました。



第二中学校の運動会。最後の運動会になる3年生と特別支援学級8組さんが行う大ムカデ競争。涙を流しながら声と呼吸を合わせる光景に「顔晴れ」と思わず叫んでいました。



「発達の子も一緒に歩んでほしい」という山先生からの「宝物」みんなの多様性を認めようダイバーインクルージョンが求められているという言葉は、印象的でした。



夜間中学視察。国際色豊かな中で世代を越えて目を輝かせて学びあう姿に、本来のインクルーシブ教育がここにあると感じました。

● 乳幼児期の障がい児も含めた共育の充実を！

障がい児も地域で共に育ちあうノーマライゼーションの観点から質問をしました。

公立・私立保育園や私立幼稚園など障がい児も共にまなび合う環境が用意されています。小学校入学前の就学時健診では全員に「就学支援シート」が配布されています。発達などで心配なことを保護者と園担当者が記入し、小学校での生活、学習面での支援に役立てるものです。しかし、発達障がいの場合、障がいが見えにくいいため小学校入学直前では支援が遅れる可能性があります。「就学支援シート」を就学直前ではなく、発達支援が必要な時点での速やかな作成と保護者が記入しやすい内容について改善の検討を求め「利用者の声を拾い検討していく」との答弁を得ました。

● 「ハウジンググリア（住まいの貧困）の解消を」

高齢者や障害者、一人親世帯などで地域での住まいを確保しにくい方々を住宅確保要配慮者（要配慮者）と呼び

● 東村山市の教育のあり方と課題について

改正地方教育行政法に基づき、総合教育会議が東村山市でも発足し「教育施策の大綱」が策定された。また、学習指導要領が改訂され、道徳が特別教科化されるなど、教育の転換点ともいえる時期を迎えている。

大綱には「教員の資質・能力を高める」とあるが、指導要領は「カリキュラムマネジメント」として教育課程の工夫を学校に求めている。先生の加配はされず、授業時間の確保が困難な中、課題をどのように解決していくのかを問うと、定例訪問などで改善指導し、人的、物的支援の確保で、組織的かつ計画的に、現在行っていることの質を高めていく、との答弁だった。実効性に課題が残る。「考える市民」を育むシナジーシップ教育の推進については、判断し表現する自

した。

また、保護者が発達支援に活用できる様々なサービスが一目で分かる、大阪府池田市の「池田市発達支援Map」を紹介し、障がい児に特化しない発達支援MAP作りを再度、提案し「検討する」という答弁でした。すべての子ども対象に、利用できる施設・医療機関・行政サービスなどの相談先が年齢別に追えるものがあれば、発達支援の充実と不足部分も明確になります。障がいの有無に関わらず子育てしやすいまちづくりに役立つ「東村山版発達支援MAP」の実現をこれからも要望します。

己決定権や意見表明権が根底に必要であることから、主権者としての子どもの権利はどのように扱われるのかを質した。今後の大綱見直しの時に子ども権利について検討する、との答弁が得られた。今後の展開を期待したい。

新指導要領では「主体的・対話的で深い学び」としてアクティブ・ラーニングが掲げられている。定例訪問で研修を進め、指導計画、事前準備、時数の確保のため、学校事務の共同実施化による業務改善を行い、指導に専念できるようにしていく、とのことだ。特別の教科となった道徳については、検定教科書では多様性の理解や尊重、健全な批判精神は育たず、論理的でない価値観の押し付けになりはしないかと懸念する。自分自身で考える道徳として全教育活動で進めていき、教科書に限らず多様な価値観を身につけられるよう指導していきたい、と抽象的な

ます。2017年度住宅セーフティネット法が一部改正され、要配慮者への賃貸住宅確保、住宅入居をこばまない、入居の円滑化が盛り込まれました。住まい確保ができていく理由は、住宅がバリアフリーでない、家賃滞納、身寄りがいないなど多岐に渡ります。これに伴い、東村山市でも実施計画（H30策定）の検討が始まっています。これらの課題解決のための「居住支援協議会」の設置の進捗状況について質問をしました。「制度の新たな枠組みとして、要配慮者のマッチング入居支援は柱であると考えている。家賃補助など市の支援は行っているが、今後関係機関と連携し、先行事例を調査研究し検討していきたい」との答弁でした。「居住支援協議会」を設置することは、「住まいの貧困（ハウジンググリア）と増え続ける空き家・空き室等の利活用を解決する肝といえます。あきらめずに提案していきます。」

答弁に終わった。

● 学校図書館の整備充実について

文科省が教育委員会に、学校司書の継続的な勤務による知識や経験の蓄積・研修の必要性を示唆している。東村山の学校図書館には2校を兼務する学校司書が配置されているが「情報センター」としての機能について質問した。

各学校に図書館運営会議は組織化されず、また蔵書検索ができるパソコンや市立図書館とのオンライン化などのインフラ整備が不十分なことがわかった。各校1人の専任司書配置の早急な実現を求めたが、市立図書館との連携で情報センター機能の充実に努め、司書配置の必要性は認めるが費用面からすぐに実現はできない、充実に向け考

子どもおとなもひとりにしない

市議会議員

大塚恵美子

詳細はこちら

http://otsuka.seikatsusha.me/
twitter: @otsukaemiko
Facebook: emiko.otsuka.186



生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員はローテーション ■ 生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業、特権化しません。ローテーション後は、市民活動などに経験を生かします。
- 2 議員報酬は市民の活動資金に ■ 議員報酬は市民の政治活動資金として使い、お金の流れはすべて公開します。
- 3 選挙はすべて手作り ■ 選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

カンパで応援隊 募集中！ カンパ1口1,000円 郵便振替 加入者名/東村山 生活者ネットワーク 記号:00190-7 番号:280305 会員・賛助会員 募集中！ TEL/FAX 042-392-7677

沖縄慰霊の日。埋め立て既成事実の辺野古、基地も日米地位協定そのままに「平和の誓い」は薄っぺらい。180回を超えた毎週金曜日の久米川駅「キンクメ」スタンディング。

6/23

6/3

6/18

5/27

5/22

6/13

6/17

6/28

まちかたE日記

北山公園の「第29回菖蒲まつり」へ。300種8000株10万本の花菖蒲は背丈も十分で見応えあり。ハナキササゲもアナベルも満開。ライトアップの夜景とライブも楽しんだ。小千谷縮に堂の帯で。

「つばめ調査隊」が久米川町で観測会を。つばめは自然の豊かさのバロメーター。講師の金田一さんとフィールドワーク。久米川東小ではいくつもの巣を発見。近くの軒先では餌をまつ雛たちを発見！

生活者ネットワークの議員は最長でも3期12年で交代し、議員を職業、特権化しません。ローテーション後は、市民活動などに経験を生かします。

強行採決された共謀罪への警鐘

2017年5月23日の衆議院本会議で審議未了のまま、共謀罪(改正組織的犯罪処罰法案)が強行採決された。続いて参議院で、6月15日早朝に法務委員会採決を省き中間報告の形で強行採決に踏み切ったことは世論を裏切る異常事態だ。

国連のプライバシー権に関する特別報告者から共謀罪が「プライバシーや表現の自由を制約する」と指摘されたが、政府は抗議文書を出すという人権理事国誓約にも反する深刻な状況にある。

権力を制限する決まりが憲法であり、立憲主義というものだ。主権者である国民を無視し、しぼられる側の為政者が強行的に成立させた集团的自衛権、安全保障関連法、共謀罪に対し、多くの国民は怒りと失望を抱き、内閣への支持率は共謀罪成立後に急落し、国民の信頼を失墜した。テロ対策を掲げているものの処罰対象はテロに限らず、対象とされる犯罪は277と広範にしてあいまいで法務大臣は的確に疑問に答えることも

できなかった。一般市民を対象としないなどの除外条項はなく、「組織的犯罪集団」の「犯罪の計画」すなわち共謀と、「準備行為」があると判断しさえすれば、誰もが処罰対象となり得る規定だ。

このように定義はあいまいでLINEやメールが共謀罪の捜査対象となることも否定されず、拡大解釈など恣意的な運用に歯止めはなく、すべての市民活動団体も対象になり得る。

共謀罪を制定せずとも「国連越境組織犯罪防止条約」に批准できることは条約の締結国187カ国中、共謀罪を新たに新設した国は2カ国に過ぎないことが立証している。

今後、危惧されるのは市民運動への圧力と世論操作であり、思想、言論の取締り、そして活動の抑制だ。テロ対策を口実とする監視と人権侵害、戦争ができる国への道を、これまで以上の市民の連携と叡智で、弛むことなくNO!をつきつきたい。

(大塚恵美子)

都議会議員選挙結果報告



ネット1議席を守る



北多摩2区32年間のネットの議席をつないだ3人(左から大西ゆき子・山内れい子・池田あつ子)

今後の国政に大きな影響を与える選挙として、注目を浴びた東京都議会議員選挙の投票が7月2日に実施され、議会改革を訴える小池都知事が率いる新・地域政党「都民ファースト」が圧勝して終わりました。

今回の選挙には、東京・生活者ネットワークは改選前から1人増やす4議席獲得を目指し、世田谷・杉並・練馬・北多摩2区で臨みました。結果は、北多摩2区(国分寺・国立)の現職「山内れい子」(22,546票)が議席を守ることができましたが、この1議席のみで、改選前の3人から1人に減らす結果となりました。

東京・生活者ネットワークは、

議会改革(多様な民意を反映させる都議会)・福祉優先のまち・豊洲反対・原発ゼロ・働きやすい暮らしのまちで「東京を変えるチャンス」と訴えて戦いましたが、都民ファーストの勢いの前に私たちの存在感を示すことができませんでした。

自民党が第1党として50年続いた都議会。安倍政権への不満が大きく響いて惨敗し、小池都政への期待から都民ファーストが過半数を占める構図に変化することとなりました。この中で3期目を迎える山内れい子は、ネットらしさをどう表現し、公約実現に向けた活動と、次に繋げる動きも含めて、新たな動きが求められています。



平和の集い どうする!? 国民投票 ～ 憲法9条に向かいあって～

憲法記念日に安倍首相は9条を核とした憲法改正および施行年について、ビデオレターで発信しました。

次回の衆議院議員選挙あるいは参議院議員選挙に関連させ、「国民投票」が実施される可能性が高まってきました。

国民投票制度の課題をともに学び、憲法改正の是非について議論をすすめましょう。

講演 **今井 一氏**
(ジャーナリスト)

著書 国民投票の総て
(7月刊行)

「解釈改憲＝大人の知恵」という欺瞞 等



10月14日(土) 午後
会場 未定

参加申込と問合せ

TEL 042-392-7677
hmy.net@hyper.ocn.ne.jp

主催 東村山・生活者ネットワーク

編集後記 6月中旬につばめ調査を実施した。果たして、つばめはいるのだろうか?とっていたところ、久米川駅周辺や小学校など、目撃情報が一ヶ月で50件も!! 気を付けてみると周りに結構飛んでいる。人間の住環境に近いところで、必死に子育てをするつばめのけなげな姿に癒される。私たちに住みやすい環境を整える事が、つばめの子育てを応援することになると気付かされた。(順)